

「業種別職種別ユニオン運動」 研究会 発足記念シンポジウム

日時 6月15日 午後6時半から

場所 台東一丁目区民館 第1集会室

参加費 無料

プログラム

①研究会の基調報告 木下武男(元昭和女子大学教授)

②報告「個別紛争とユニオン運動」 嶋崎量(弁護士)

③業種別ユニオンの事例報告

・全日本建設運輸連帯労組近畿地本(生コン、港湾、トラック、介護)

西山直洋(近畿地本書記長)

・総合サポートユニオン(エステ、ブラックバイト、塾講師、介護、保育)

坂倉昇平(執行委員)

司会: 武藤弘道(都労連顧問)

講演者プロフィール



木下武男

元昭和女子大学教授。専門は現代社会論、労働社会学、女性労働。著書に「若者の逆襲—ワーキングプアからユニオンへ—」(旬報社)、「格差社会にいだむユニオン—21世紀労働運動原論—」(花伝社) など多数。

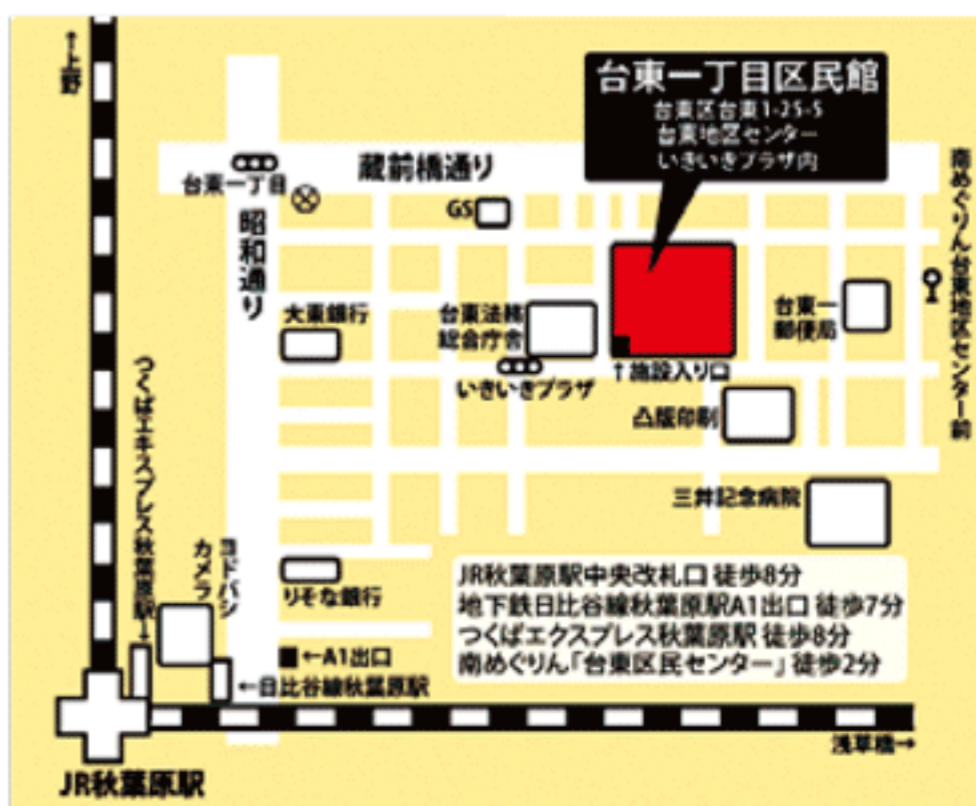


嶋崎量

神奈川総合法律事務所所属、ブラック企業対策プロジェクト事務局長、ブラック企業被害対策弁護団副事務局長、反貧困ネットワーク神奈川幹事など。共著に「ブラック企業のない社会へ」(岩波ブックレット)、「ドキュメント ブラック企業」(ちくま文庫) など多数。

■会場アクセス

JR秋葉原駅昭和通り口・地下鉄日比谷線秋葉原駅から徒歩7分



「業種別職種別ユニオン運動」研究会への呼びかけ

業種別職種別に、労働組合の運動をおこなっていくことが今求められています。業種や職種を軸に、労働者を広く結集し、業界を相手に労働条件の向上を求めていく運動です。

それは企業内の努力だけでは、安定した雇用や賃金が期待できない労働者がますます増えているからです。非正規労働者や公務部門の臨時職員、小売・飲食などの「ブラック企業」の正社員、介護・保育・医療・教育などの専門職労働者、運輸建設の労働者などです。その分野では業種別職種別ユニオンが適切だと思われます。

また企業別組合であっても業種ごとに組合がまとまって、業界団体や政府に業界のあり方を改善させる運動も必要とされています。今ある業種別部会が、企業を超えてしっかり連携していけば、力になると思われます。

これまでは業種別ユニオンがあるのは生コンや港湾など数少ない業界でしたが、最近では「ブラック企業」の正社員、小売・飲食のブラックバイト、エステティシャン、塾の講師、介護・保育士、公務部門の臨時職員、水道の検針者、グリーン業界の労働者などのあいだで業種別職種別ユニオンが次々に創られています。貧困と過酷な労働が広がるなかで立ち上がった労働者たちです。

これらの業種別職種別の運動を調査研究し、広めていくことが急がれます。いわば業種別ユニオンの種を吟味し、それを各地に蒔き、花を咲かせることです。そのため私たちは「業種別職種別ユニオン運動」研究会を結成いたします。ご賛同頂き、研究会への参加をお願い申し上げます。

呼びかけ人

浅見和彦(専修大学)、指宿昭一(弁護士)、上原慎一(北海道大学)、遠藤公嗣(明治大学)、笠置裕亮(弁護士)、木下武男(元昭和女子大学教授)、熊沢誠(甲南大学名誉教授)、後藤道夫(都留文科大学名誉教授)、嶋崎量(弁護士)、新里宏二(弁護士)、吉田誠(立命館大学)